

## 令和 4 年度富谷市立成田小学校 学校関係者評価書

令和 5 年 2 月 1 3 日  
学校関係者評価委員会  
氏 名 大和 道功  
氏 名 高橋 亜紀  
氏 名 伊藤 拓也  
氏 名 佐々木政文

### 1 総評

#### (1) 本校の今年度の重点目標とその取組状況について

- ・ 学校教育目標のもと、コロナ禍 3 年目であるが教職員、児童、そして保護者など一丸となつてその対応等に取り組み、各項目につき十分な向上が見られる。
- ・ 学習指導、心の教育、体力作りなど児童の実態に合った指導を創意工夫し、保護者、地域等と連携協力した取り組みを継続してほしい。

#### (2) 成果について

- ・ 十分成果を上げている。特に学習面について市内で上位にあり、今後ともその水準を維持してほしい。さらに「学ぶ楽しさ」「団結の力」などを実感できる授業づくりを教職員そして保護者が一丸となり推進して行ってほしい。
- ・ 感染症対策を十分に考慮しつつ、PTA 及び成田中学校との連携をさらに強化して行ってほしい

#### (3) 課題や改善を要する事項について

- ・ ホームページ、ブログなどを活用した学校から各種の情報発信をさらに充実させ、家庭、地域等との連携をとって行ってほしい。特に保護者が参加する行事の情報については迅速かつ正確な情報発信を心がけてほしい。
- ・ いじめ問題、コロナ問題等を中心とした課題、ゲーム機、スマホ等の使用マナーやルールの指導など、保護者の果たす役割も極めて大きい。何でも学校まかせにばかりせず、保護者等が自覚し、家庭、地域と学校の強力な連携のもと取り組む体制づくりが一層重要である。

## 2 各領域等の評価

領域	評価の観点	評価	意見・改善案等
学校運営	1 開かれた学校づくり	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページやブログでの情報発信をさらに推進してほしい。次年度はPTAでもホームページを立ち上げるので連携して情報発信をしていきたい。</li> <li>・コロナ禍ではあるが可能な限り行事を再開している。次年度は更なる活動制限の縮小を願う。</li> <li>・危機管理マニュアルのQRコード化や成田小独自の動画を作成しての防災指導など工夫が感じられる。さらに推進してほしい。</li> </ul>
	2 魅力ある学校	A	
	3 施設・設備	B	
	4 安全管理	A	
	5 教職員の資質の向上	B	
	6 特色ある教育活動等	A	
教育課程	1 確かな学力	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の向上や学習習慣の定着に向けて小学校と中学校とが連携した取組を推進してほしい。</li> <li>・挨拶運動など小中学生が一緒にできる活動をさらに拡げてほしい</li> <li>・進んで挨拶ができる児童、挨拶をされたらきちんと返せる児童が多くよい傾向である。</li> </ul>
	2 豊かな心身	B	
	3 特別活動	A	
	4 生徒指導・教育相談	A	
	5 特色ある教育活動等	A	
課題教育	1 環境教育	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育をSDGsと関連させているのが良い。アレルギー等に配慮しつつもしっかりと食べる児童を育成してほしい。</li> <li>・タブレットの活用が進み、様々な情報やそれに伴うリスクが増えている。低学年時からの継続的な指導や家庭への啓蒙を重視してほしい。</li> <li>・タブレットの活用について中学校区での情報共有を推進してほしい。</li> </ul>
	2 情報教育	A	
	3 特別支援教育	B	
	4 図書館教育	B	
	5 健康教育	A	
	6 特色ある教育活動等	A	
地域との連携について		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍後を見通した地域との連携を進めてほしい。特に成田中学校とは防災学習や交流会などを推進してほしい。</li> </ul>
いじめ問題への取り組み		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTAが行っているいじめアンケートの内容や方法を適宜見直し、より良いものにしていきたい。</li> <li>・今後は児童生徒が自力で解決する能力の育成も大切になってくると感じる。そうした能力の育成にも今後は力を注いでほしい。</li> </ul>